



第1章

全体の状況

全体の状況

第1期復興実施計画の「事業進捗」に係る出典データ

復興実施計画（第1期）の施策体系・事業に基づく進捗状況〔平成26年5月26日〕

区分	対第1期末目標進捗率
A	100%以上
B	100%未満 80%以上
C	80%未満 60%以上
D	60%未満

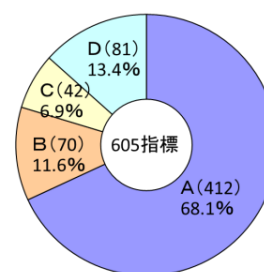
全体

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 79.7%（482指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 20.3%（123指標）

実質的遅れ 7.8%（47指標）

【対第1期末目標】



3つの原則

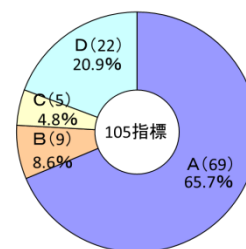
原則1 安全の確保

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 74.3%（78指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 25.7%（27指標）

実質的遅れ 21.9%（23指標）

【対第1期末目標】



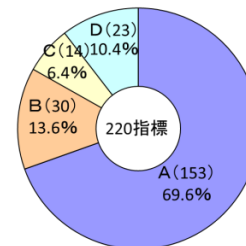
原則2 暮らしの再建

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 83.2%（183指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 16.8%（37指標）

実質的遅れ 5.0%（11指標）

【対第1期末目標】

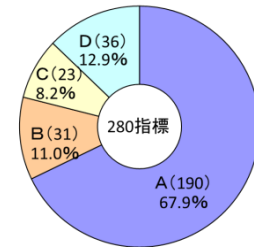


原則3 なりわいの再生

【対第1期末目標】

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」(80%以上) 78.9% (221指標)
 - ・「C」及び「D」(80%未満) 21.1% (59指標)
- 実質的遅れ 4.6% (13指標)



県民の復興の実感を示す「県民意識」に係る出典データ

平成 26 年 復興に関する意識調査〔平成 26 年 4 月 24 日〕

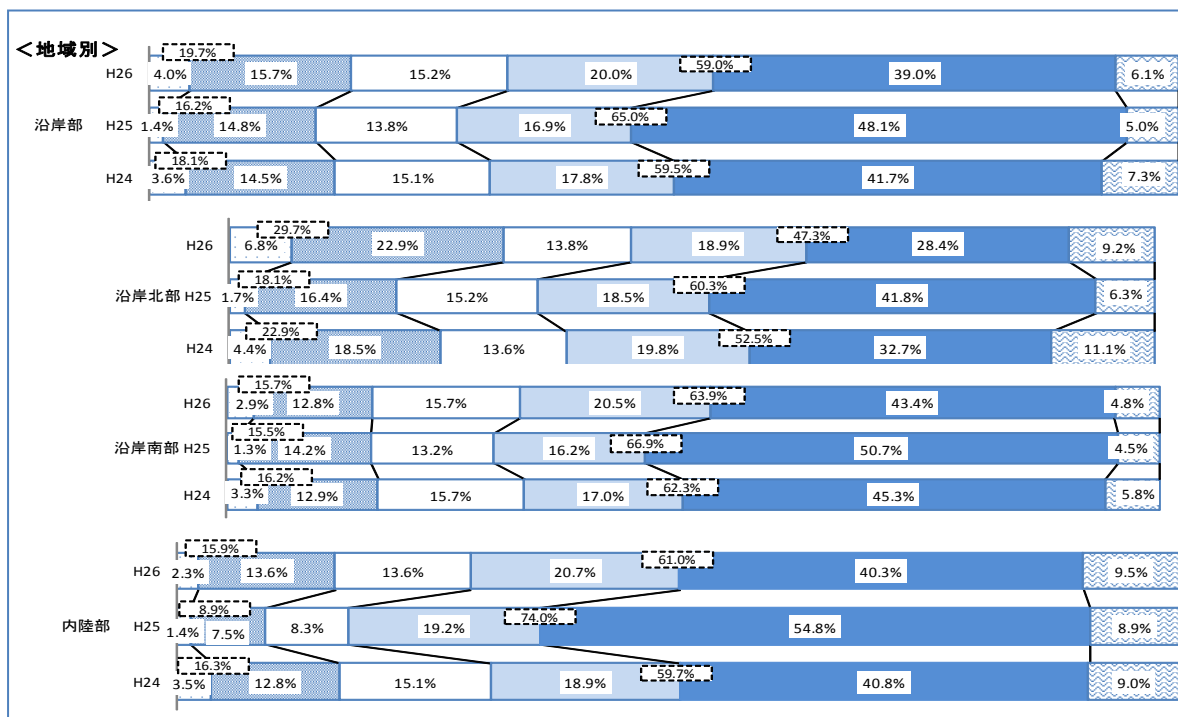
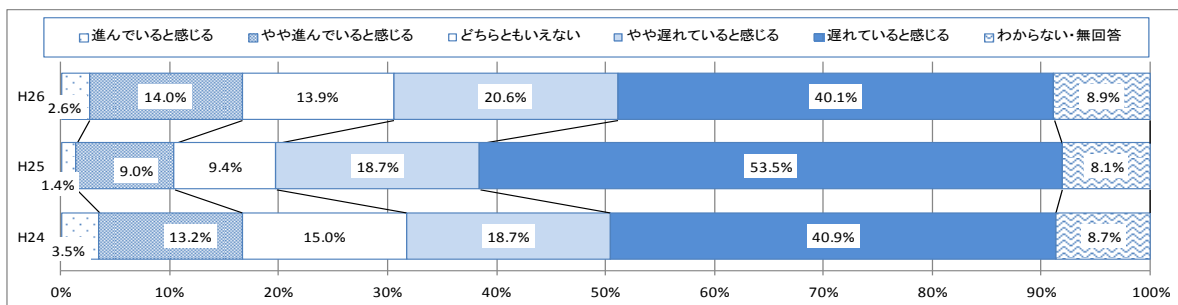
● 全般的な復旧・復興の実感について

(1) 岩手県全体の復旧・復興の実感

○岩手県全体の復旧・復興の実感について、県全域では「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」の合計(16.6%)は、前回(平成 25 年)調査の合計(10.4%)から 6.2 ポイント増加し、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の合計(60.7%)は、前回調査の合計(72.2%)から 11.5 ポイント減少している。

○地域別に見ると、「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」の合計は、前回調査に比べ、沿岸部で 3.5 ポイント、内陸部で 7.0 ポイント増加し、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の合計は、沿岸部で 6.0 ポイント、内陸部で 13.0 ポイント減少している。また、「岩手県全体の復旧・復興の実感」は、前回調査同様、沿岸部の回答が内陸部の回答を上回る結果となっている。

【設問】 岩手県全体をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。

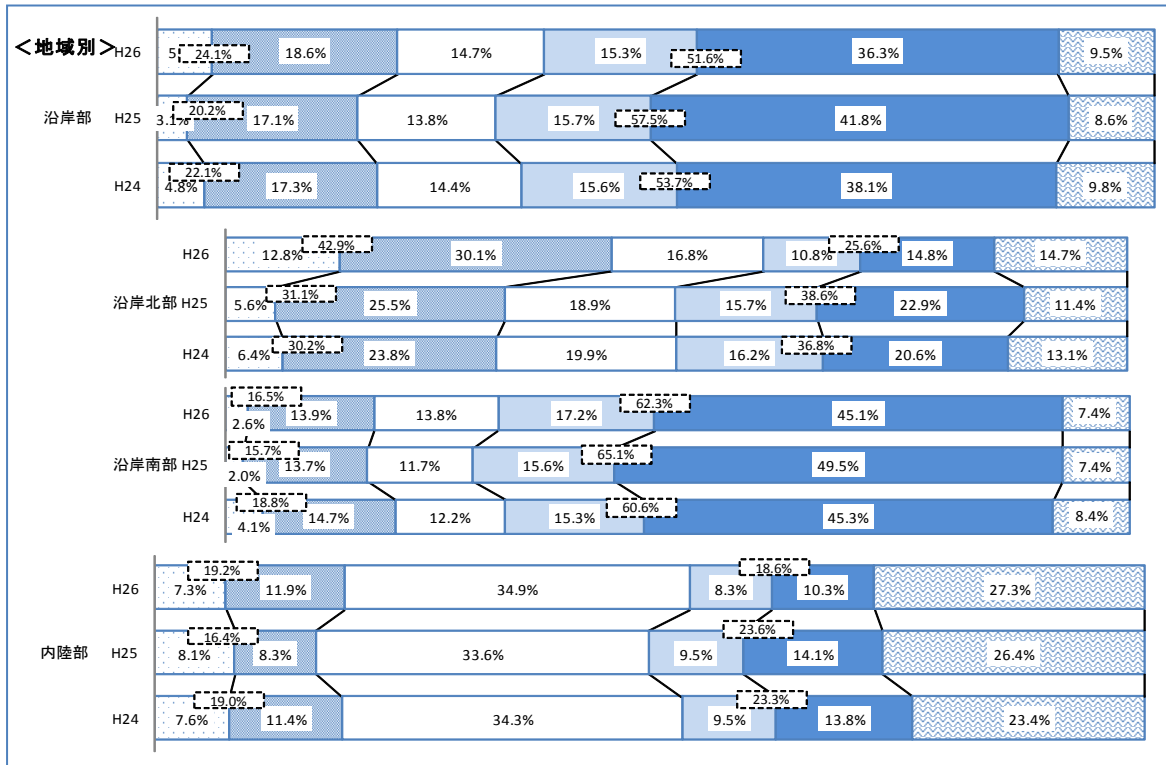
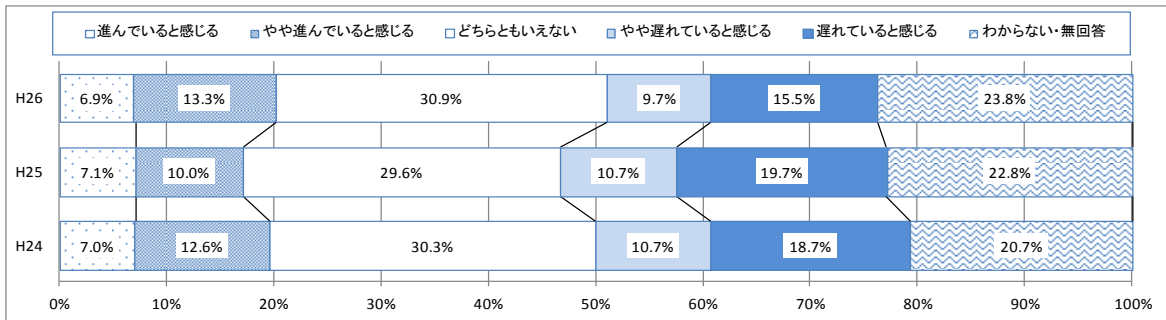


(2) お住まいの市町村の復旧・復興の実感

○お住まいの市町村の復旧・復興の実感について、県全域では「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」の合計(20.2%)は、前回(平成25年)調査の合計(17.1%)から3.1ポイント増加し、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の合計(25.2%)は、前回調査の合計(30.4%)から5.2ポイント減少している。

○地域別に見ると、「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」の合計は、前回調査に比べ、沿岸部で3.9ポイント、内陸部で2.8ポイント増加し、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の合計は、沿岸部では5.9ポイント、内陸部では5.0ポイント減少している。

【設問】あなたがお住まいの市町村をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。
 なお、震災時にお住まいだった市町村から転居されている方は、震災時にお住まいだった市町村の状況について、お答えください。



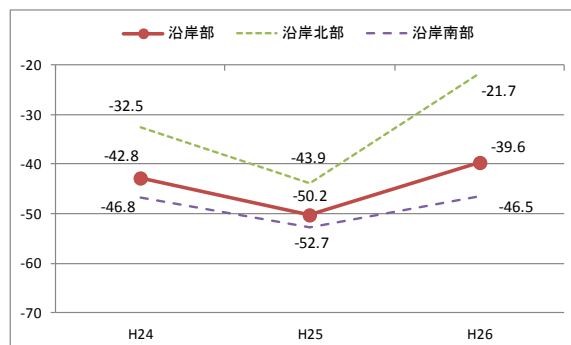
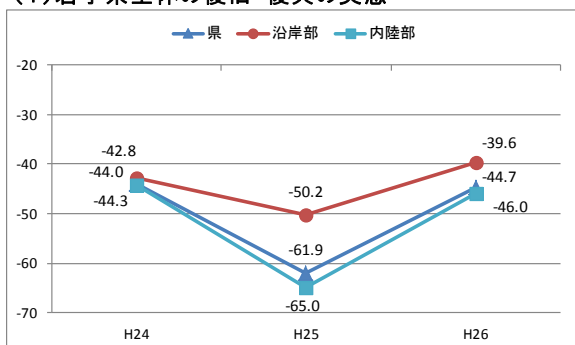
<動向判断指数(DI)の推移>

<動向判断指数(DI)>

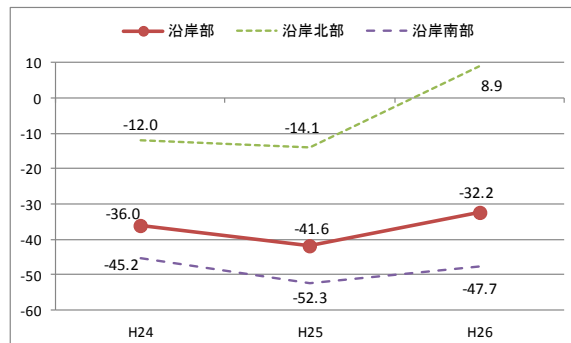
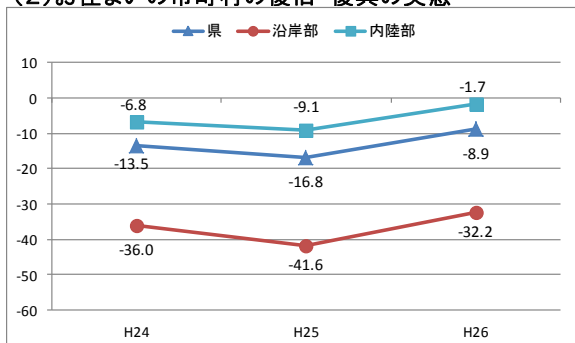
5段階の選択肢毎の回答数がそれぞれA、B、C、D、Eのとき、次式により単純集計して全回答に対する構成比率を求める。

$$\text{動向判断指数(DI)} = \{(A \times 2 + B) - (D + E \times 2)\} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

(1)岩手県全体の復旧・復興の実感



(2)お住まいの市町村の復旧・復興の実感



● 施策別の復旧・復興の重要度・進捗への実感などについて

○施策別の復旧・復興の重要度及び進捗への実感などについては、「進捗の実感」に比べて「重要度」が全般的に高い水準にあり、復興促進ニーズ度(「重要度」の値から「進捗への実感」の値を減じたもの)は、前々回(平成24年)調査、前回(平成25年)調査、今回と、年々減少してきてはいるものの、依然として一定の水準となっている。

【設問】 復興計画の3つの原則に基づいた復興を実現するための具体的な取組について、「あなたから見た重要度」と「あなたの復旧・復興の実感」についてお伺いします。

項目別の重要度、進捗への実感、復興促進ニーズ度(県全域)

3つの原則	番号	項目	重要度	進捗への 実感	復興促進ニーズ度		
					(H25)	(H24)	
「安全」の確保	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	4.61	2.39	2.23	2.57	2.54
	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	4.47	2.29	2.18	2.82	2.86
	1-3	放射能への安全対策	4.62	2.07	2.55	2.70	2.79
	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	4.48	2.97	1.50	1.78	1.88
	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	4.65	2.48	2.17	2.43	2.54
	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	4.48	2.70	1.78	2.48	2.73
「暮らし」の再建	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	4.61	2.36	2.26	2.47	2.51
	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	4.73	2.04	2.68	3.06	2.97
	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	4.74	2.25	2.49	2.82	2.96
	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	4.73	2.30	2.44	2.81	2.99
	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	4.76	2.57	2.19	2.58	2.56
	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	4.56	2.74	1.81	2.11	2.08
	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	4.75	2.56	2.19	2.58	2.57
	2-8	被災した伝統芸能団体の復興	3.90	2.81	1.08	1.35	1.45
	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	4.13	2.61	1.53	1.84	1.84
	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	3.92	2.50	1.42	1.67	1.62
	2-11	被災地域のコミュニティ活動(自治会、町内会など)の活性化	4.26	2.84	1.42	1.67	1.76
	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	4.65	2.89	1.76	2.12	2.17
「なりわい」の再生	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の復興	4.43	2.53	1.90	2.10	2.33
	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	4.68	2.78	1.90	2.32	2.66
	3-3	被災した漁港の復旧・整備	4.71	2.62	2.08	2.55	2.80
	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	4.59	2.78	1.80	2.22	2.54
	3-5	被災した農地などの復旧・整備	4.56	2.36	2.20	2.57	2.77
	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	4.37	2.52	1.85	2.17	2.46
	3-7	被災した商工業者の事業の再開	4.50	2.47	2.03	2.34	2.53
	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	4.51	2.30	2.21	2.45	2.49
	3-9	ものづくり産業(製造業)の集積、新産業の創出	4.38	2.46	1.92	2.22	2.36
	3-10	観光客の回復・増加	4.23	2.79	1.44	1.97	2.01
	3-11	被災した観光施設の復旧	4.38	2.49	1.90	2.27	2.38
平均			4.50	2.53	1.96	2.31	2.42

〔用語の説明〕

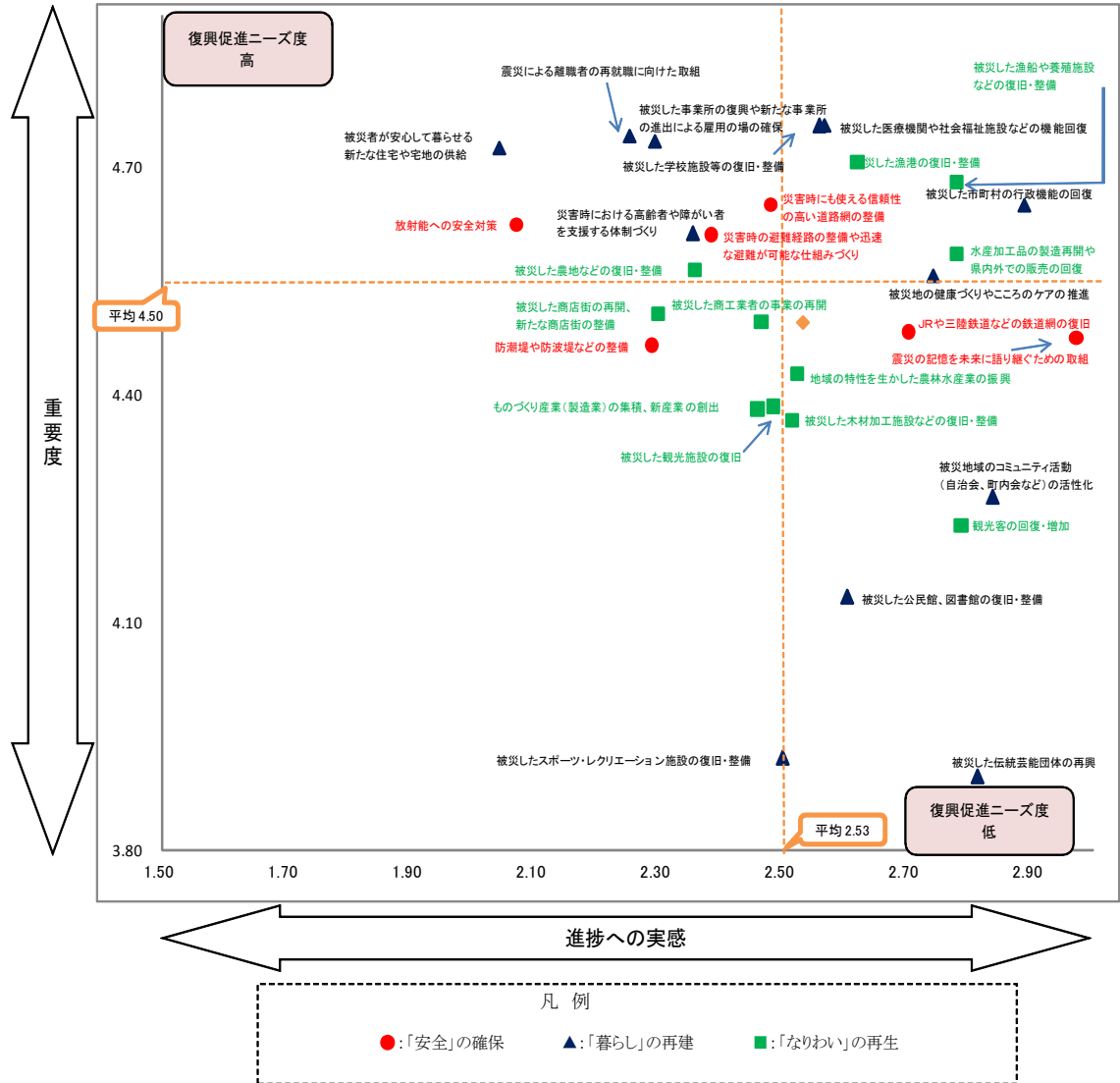
重要度： 「重要である」を5点、「やや重要である」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

進捗への実感： 「進んでいると感じる」を5点、「やや進んでいると感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや遅れていると感じる」を2点、「遅れていると感じる」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

復興促進ニーズ度： 「重要度」-「進捗への実感」
(重要度が高く、住民の復旧・復興の実感が低い状態を復興を急ぐニーズが高いと読む。)

全体の状況(復興に関する意識調査)

(参考) 項目別の「重要度」と「進捗への実感」との関係
【県全域】



【復興促進ニーズ度の高い順】(復興促進ニーズ度=「重要度」-「進捗への実感」)

順位	(H28) 区分	番号	項目	ニーズ度	順位	(H28) 区分	番号	項目	ニーズ度	順位	(H28) 区分	番号	項目	ニーズ度
1	(1) 暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	2.68	11	(3) 安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	2.18	21	(18) 暮らし	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	1.80
2	(5) 安全	1-3	放射能への安全対策	2.55	12	(14) 安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	2.17	22	(11) 安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	1.78
3	(2) 暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	2.49	13	(10) 暮らし	3-3	被災した漁港の復旧・整備	2.08	23	(21) 暮らし	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	1.76
4	(4) 暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の確保	2.44	14	(15) 暮らし	3-7	被災した商工業者の事業の再開	2.03	24	(25) 暮らし	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	1.53
5	(12) 暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支える体制づくり	2.26	15	(19) 暮らし	3-9	ものづくり産業(製造業)の集積、新産業の創出	1.92	25	(26) 安全	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	1.50
6	(8) 安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	2.23	16	(23) 暮らし	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	1.90	26	(24) 暮らし	3-10	観光客の回復・増加	1.44
7	(13) 暮らし	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	2.21	17	(16) 暮らし	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	1.90	27	(27) 暮らし	2-11	被災地域のコミュニティ活動(自治会、町内会など)の活性化	1.42
8	(9) 暮らし	3-5	被災した農地などの復旧・整備	2.20	18	(17) 暮らし	3-11	被災した観光施設の復旧	1.90	28	(28) 暮らし	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	1.42
9	(7) 暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	2.19	19	(20) 暮らし	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	1.85	29	(29) 暮らし	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	1.08
10	(6) 暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	2.19	20	(22) 暮らし	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	1.81					

(参考) 復興促進ニーズ度の順位変動 (H25⇒H26)

☆ 下表「主な変動」欄には、前年(平成25年)調査時から5つ以上、順位が上昇した(または下降した)項目に、矢印を表示している

順位	H25 順位	主な 変動	区分	復興促進ニーズ度 (重要度－進捗の実感)	重要度	進捗への 実感	
1	1		暮らし	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	2.68	4.73	2.04
2	5		安全	放射能への安全対策	2.55	4.62	2.07
3	2		暮らし	震災による離職者の再就職に向けた取組	2.49	4.74	2.25
4	4		暮らし	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	2.44	4.73	2.30
5	12	↑	暮らし	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	2.26	4.61	2.36
6	8		安全	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	2.23	4.61	2.39
7	13	↑	なりわい	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	2.21	4.51	2.30
8	9		なりわい	被災した農地などの復旧・整備	2.20	4.56	2.36
9	7		暮らし	被災した学校施設等の復旧・整備	2.19	4.75	2.56
10	6		暮らし	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	2.19	4.76	2.57
11	3	↓	安全	防潮堤や防波堤などの整備	2.18	4.47	2.29
12	14		安全	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	2.17	4.65	2.48
13	10		なりわい	被災した漁港の復旧・整備	2.08	4.71	2.62
14	15		なりわい	被災した商工業者の事業の再開	2.03	4.50	2.47
15	19		なりわい	ものづくり産業(製造業)の集積、新産業の創出	1.92	4.38	2.46
16	23	↑	なりわい	地域の特性を生かした農林水産業の振興	1.90	4.43	2.53
17	16		なりわい	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	1.90	4.68	2.78
18	17		なりわい	被災した観光施設の復旧	1.90	4.38	2.49
19	20		なりわい	被災した木材加工施設などの復旧・整備	1.85	4.37	2.52
20	22		暮らし	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	1.81	4.56	2.74
21	18		なりわい	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	1.80	4.59	2.78
22	11	↓	安全	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	1.78	4.48	2.70
23	21		暮らし	被災した市町村の行政機能の回復	1.76	4.65	2.89
24	25		暮らし	被災した公民館、図書館の復旧・整備	1.53	4.13	2.61
25	26		安全	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	1.50	4.48	2.97
26	24		なりわい	観光客の回復・増加	1.44	4.23	2.79
27	27		暮らし	被災地域のコミュニティ活動(自治会、町内会など)の活性化	1.42	4.26	2.84
28	28		暮らし	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	1.42	3.92	2.50
29	29		暮らし	被災した伝統芸能団体の再興	1.08	3.90	2.81

〔用語の説明 復興に関する意識調査〕

復興促進ニーズ度：次式により、「重要度」の値から「進捗への実感」の値を減じて算出する。

$$\text{「復興促進ニーズ度」} = \text{「重要度」} - \text{「進捗への実感」}$$

重要度が高く、住民の復旧・復興の実感が低い状態を復興を急ぐニーズが高いと読む。

なお、順位は調査を行った29項目の中で数値が高い順位。

全体の状況(復興に関する意識調査)

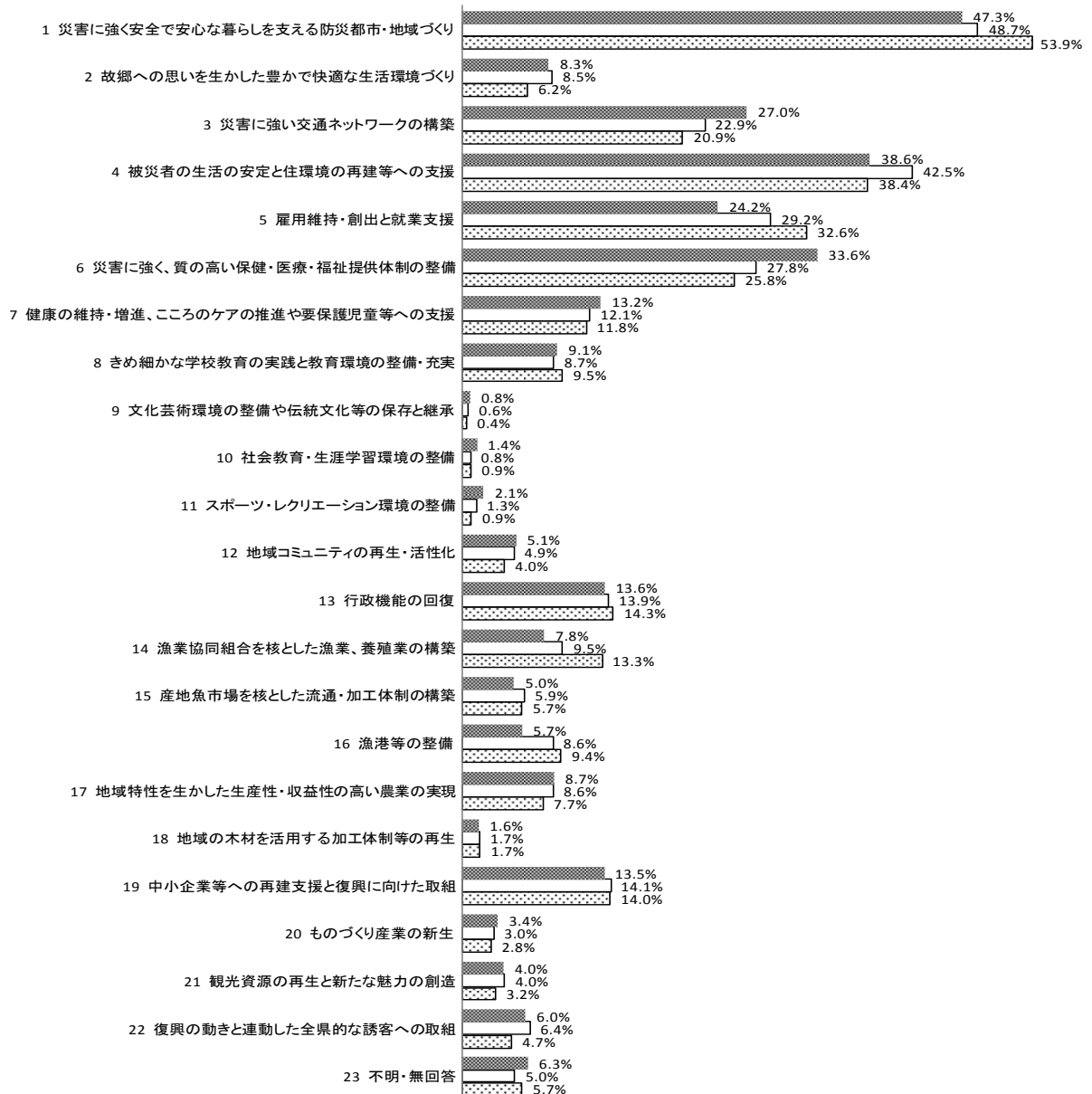
● 復旧・復興に向けた優先施策について

○復旧・復興に向けた優先施策について、県全域では、「1 災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり」の割合(47.3%)が最も高く、次いで「4 被災者の生活の安定と住環境の再検討への支援」(38.6%)、「6 災害に強く、質の高い保健・医療・福祉提供体制の整備」(33.6%)などが高くなっている。

○地域別に見ると、上記とほぼ同様の傾向であるが、沿岸部では「6 災害に強く、質の高い保健・医療・福祉提供体制の整備」が2番目に高い結果となっている。

○前回(平成25年)調査と比較すると、上位5施策の項目は同じであるが、「6 災害に強く、質の高い保健・医療・福祉提供体制の整備」「3 災害に強い交通ネットワークの構築」が割合・順位ともに高くなっている。

【設問】 あなたは復旧・復興を進めるために優先的に進めて欲しい施策について、次の項目(22の取組項目)の1から22のなかから3つ選び、番号に○をつけてください。



平成 26 年【第 1 回】 いわて復興ウォッチャー調査 [平成 26 年 3 月 28 日]

<動向判断指数 (D I) の推移>

<動向判断指数 (D I) >

掲載する折れ線グラフは、各回の動向判断指数(D I)について時系列にその推移を表わしたものである。

動向判断指数(D I)は、「回復した」の回答数がA、「やや回復した」の回答数がB、以下「どちらとも言えない」がC、「あまり回復していない」がD、「回復していない」がEのとき、次の式で算出する

$$\text{動向判断指数 (D I)} = \{ (A \times 2 + B) - (D + E \times 2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

(注) 上記「回復した」は、設問によって「達成した」「進んでいる」等となる(他の選択肢についても同様)。

【被災者の生活】回復度・直近3ヶ月間の進捗状況

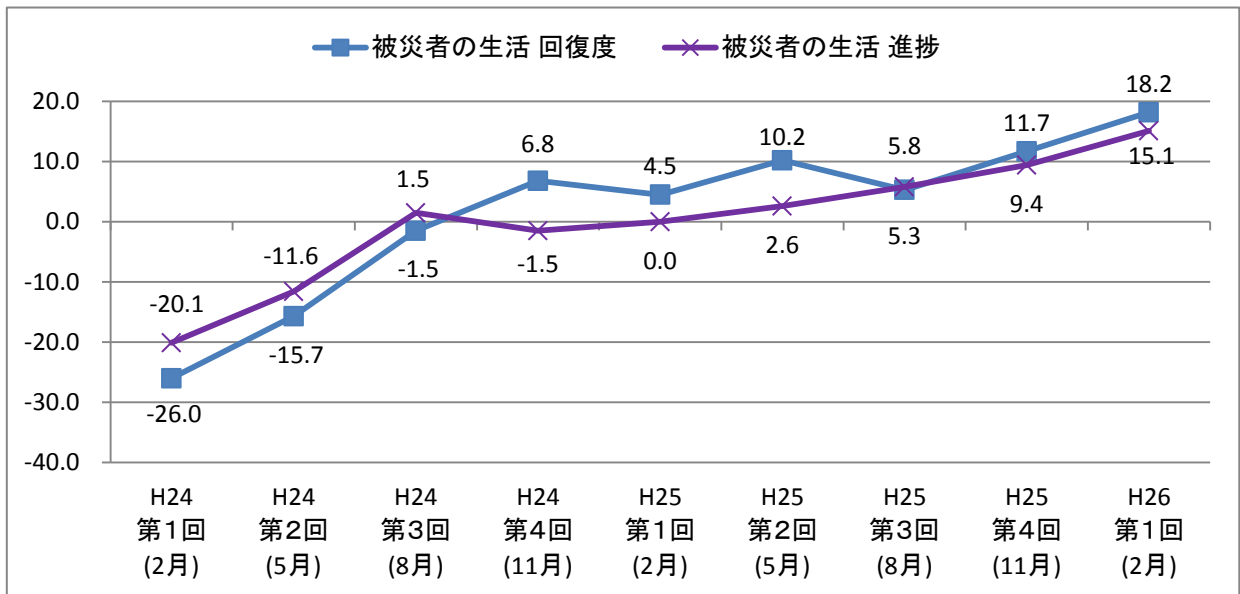
【設問】

- 1 あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

回復した/やや回復した/どちらとも言えない/あまり回復していない/回復していない

- 2 あなたの周囲をご覧になって、最近(3ヶ月間程度)の被災者の生活の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？

進んでいる/やや進んでいる/どちらとも言えない/あまり進んでいない/進んでいない



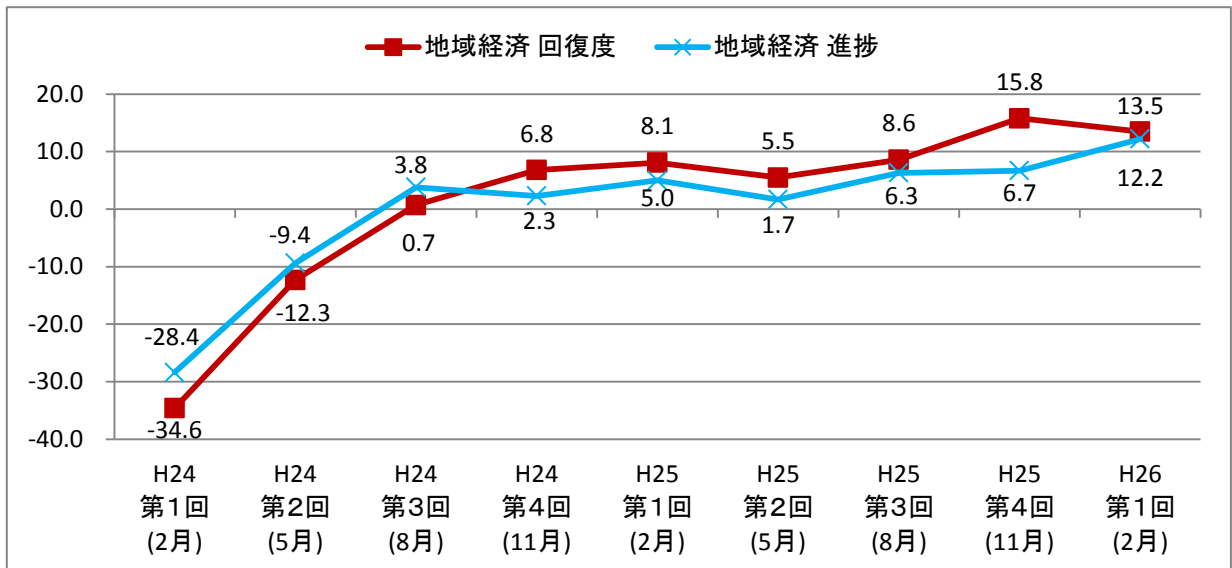
回復度：上下動はあるものの、全体としては前進してきている。

進捗：H24年第4回で一旦下降したが、以降堅調に推移している。

【地域経済】回復度・直近3ヶ月間の進捗状況

【設問】

- 1 あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？
回復した/やや回復した/とちらとも言えない/あまり回復していない/回復していない
- 2 あなたの周囲をご覧になって、最近(3ヶ月間程度)の地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？
進んだ/やや進んだ/とちらとも言えない/あまり進んでいない/進んでいない



回復度：堅調な推移を見せていたが、H26年第1回では若干の後退という結果となった。

進捗：上下動はあるものの、全体としては着実な前進を見せている。

【災害に強い安全なまちづくり】達成度・直近3ヶ月間の進捗状況

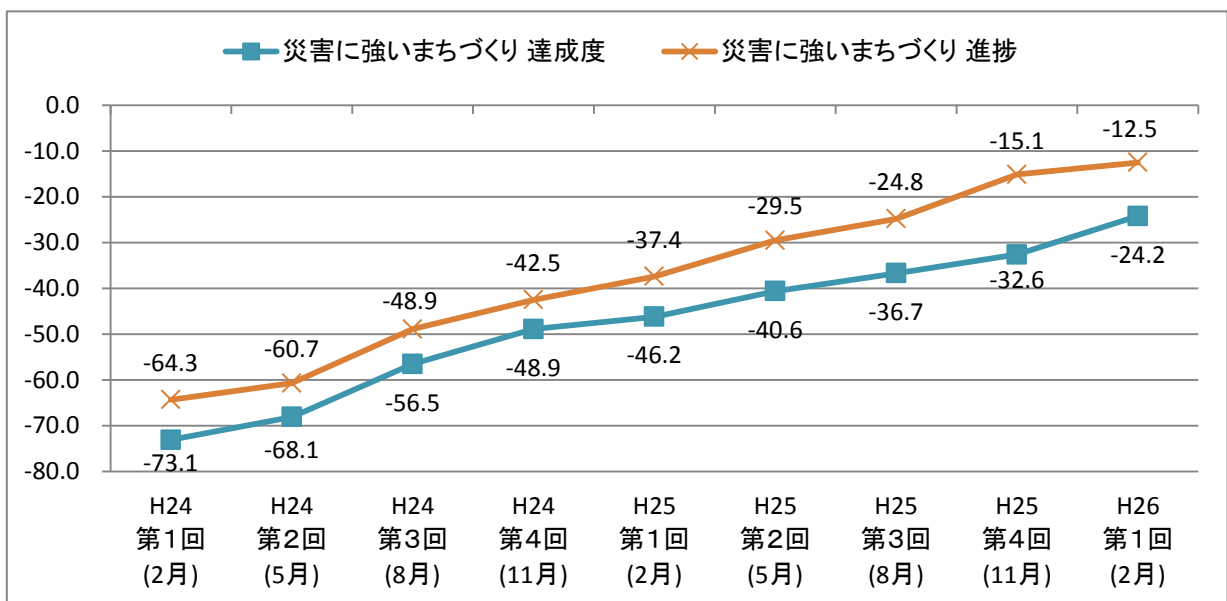
【設問】

1 あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは、被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

達成した/やや達成した/どちらとも言えない/あまり達成していない/達成していない

2 あなたの周囲をご覧になって、最近(3ヶ月間程度)の災害に強いまちづくりの進み具合は、どの程度と感じますか？

進んでいる/やや進んでいる/どちらとも言えない/あまり進んでいない/進んでいない



達成度：指数そのものは低いものの、調査開始以降着実な前進を見せている。

進 捗：指数そのものは低いものの、調査開始以降着実な前進を見せている。

また、一貫して「達成度」を上回った値で推移している。

